

市場概要

令和
7
年度



大阪市中央卸売市場

目 次

はじめに	1
I 中央卸売市場概要	
1 大阪市中央卸売市場の位置	3
<本場及び東部市場>	
1 市場の歴史	4
2 市場の施設	8
3 取扱品目	12
4 市場の機構	12
5 せりの開始時刻	14
<南港市場>	
1 市場の歴史	16
2 市場の施設	18
3 取扱品目	20
4 市場の機構	20
5 せりの開始時刻	21
II 統計資料	
<本場及び東部市場>	
1 経年グラフ	24
2 取扱数量及び金額	26
3 年次別取扱高	32
4 地域別搬出量グラフ	35
5 入出場調査	36
<南港市場>	
1 経年グラフ	37
2 取扱数量及び金額	38
3 年次別取扱高	40
4 入出場調査	41

はじめに

中央卸売市場は、私たちの日常生活に欠くことのできない野菜、果実、水産物、肉類などの生鮮食料品等について、様々な産地から集荷し、公正な価格形成を行い、市民・消費者へ安定的に供給するという生鮮食料品流通において中心的な役割を担っています。

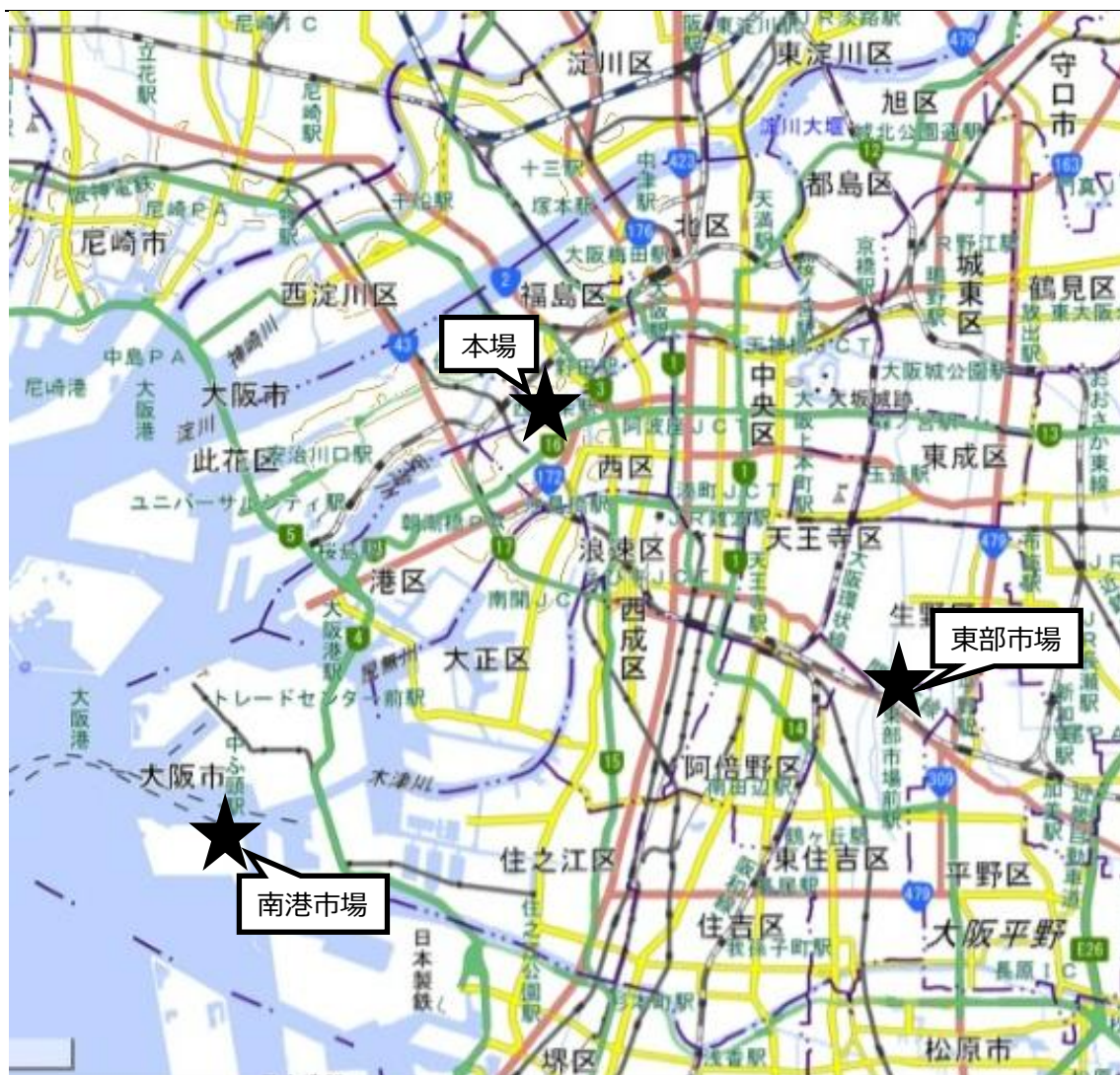
令和7年4月現在、中央卸売市場は、全国で64市場（39都市）が開設されており、本市では、野菜、果実、水産物などを取り扱う **本場 及び 東部市場**、肉類（鳥肉を除く。）を取り扱う **南港市場** の3市場を開設しています。いずれも西日本を代表する卸売市場であり、大阪市を中心とする大都市圏における消費地市場として安全・安心な生鮮食料品等を供給し、市民等消費者の食生活の安定に寄与しています。

この資料は、大阪市中央卸売市場の概要を広く一般に紹介し、関心を高めていただくために作成しました。本市場についてご理解いただく一助となれば幸いに存じます。



I 中央卸売市場概要

1 大阪市中央卸売市場の位置



地理院地図（電子国土 web）を加工して作成

- 総務課 及び 企画課
大阪市福島区野田一丁目1番86号 / 電話 6469-7910 / FAX 6469-7979
- 本場
大阪市福島区野田一丁目1番86号 / 電話 6469-7955 / FAX 6469-7979
- 東部市場
大阪市東住吉区今林一丁目2番68号 / 電話 6756-3901 / FAX 6756-3905
- 南港市場
大阪市住之江区南港南五丁目2番48号 / 電話 6675-2010 / FAX 6675-2029

<本場及び東部市場>

1 市場の歴史

生鮮食料品の市場が形成されたのは、豊臣秀吉が大坂城を築城した頃からであり、それ以来発展し、昭和の初期まで盛況を呈した大阪の名高い市場として、天満、ざこば、靱（うつぼ）、木津、難波などがありました。

第一次大戦が終わった大正7年頃は、経済情勢が不安定であったため、物価への影響を危惧した大阪市は、大正7年4月に公設小売市場を設置し、日用品の廉売と物価の安定を図りました。同年7月に起きた「米騒動」は、国民の食生活に影響が多であったことから、国においてもその対策を検討することとなり、本市の公設小売市場の設置に刺激され、生鮮食料品の取引の正常化、適正な価格形成を目的として、大正12年3月に中央卸売市場法が制定されました。

本市においても、市民の食生活安定のために公設小売市場の親市場として、中央卸売市場の開設が必要であると判断し、調査委員会等を設置し検討を重ねました。その結果、水陸運ともに至便な福島区野田を最適地として決定し、全国に先がけて大正14年3月に国の認可を得て着工し、当時東洋一を誇る堂々たる総合市場として、昭和6年11月11日に現在の中央卸売市場（本場）が敷地面積約126,000㎡で開場しました。この開場と同時に従来から繁栄していた私設卸売市場については、ほとんどが中央卸売市場に吸収され、開場後1年間（昭和7年）の取扱量は39万トンに達しました。

また、第二次大戦終戦直後の統制中は、生鮮食料品の集荷配給機関として本来の市場機能を一次中断しましたが、統制の解除とともに、昭和25年5月から仲買制度の復活など再び本来の市場の姿に戻り、取扱量も45万トンまで回復しました。

一方、戦後の市内人口の回復とともに、周辺都市、近隣府県の人口も伸び、消費が激増し、大阪市内を対象とした消費市場であったものが、いわゆる集散市場の性格も色濃く併せ持つようになり、取扱量は毎年増加の一途をたどっていきました。それとともに輸送手段の大型化・高速化が急速に進み、市場施設が狭あい・過密となり、その打開策として昭和29年1月、市東南部にあたる東住吉区今林に第2中央卸売市場（東部市場）の建設計画を立て、敷地面積83,000㎡で、昭和33年11月に着工しました。建設にあたって、用地買収その他多くの課題がありましたが、昭和39年11月20日に施設が完成し、11月25日から業務を開始しました。

昭和39年には、本場の取扱量も開場当時の2倍強の82万トンを超え、その後も毎年1割近くの増加を示し、昭和45年に120万トンに達したことから、取扱量の増加や自動車輸送の激増に対処し、また、老朽施設の改善と過密・狭あい化打開のため、拡張整備事業（現在の市場西棟）を実施し、昭和50年11月に果実・乾物等の部門を、昭和51年2月に漬物売場をそれぞれ移転しました。

しかし、本場開場から60年以上経過し、施設の老朽化が著しく、耐震構造の施設への建替えや、生鮮食料品等にかかる流通環境の変化や多種多様な消費者ニーズ、情報化の進展への対応が求められていたことから、食品流通の基幹的役割を充分果たすことができる機能を有するとともに、環境対策や衛

生面に配慮した廃棄物の処理施設等を備えた近代的な市場を目指し、平成元年度より抜本的な施設整備事業に着手しました。平成4年9月に業務管理棟が完成し、その後引続き市場棟（現在の市場東棟）及び関連棟の工事を進め、足掛け10年に及んだ現地建替が平成14年11月に完成しました。さらに、物流機能の強化を図るため、平成15年6月に配送加工棟の整備に着手し、平成16年7月に完成しました。

また、コールドチェーンの確保やH A C C P対応の保冷库・加工場が求められていたことから、令和2年度に業務管理棟北側の整備に着手し、令和5年2月に買荷積込所が完成しました。

東部市場においては、その後、取扱量の増加に伴い昭和52年12月に施設の拡張を行い、加工食料品売場を移転し、引き続き昭和53年度から、仲卸売場棟の全面改築工事を実施し、昭和56年3月に完成しました。さらに、平成12年3月に流通の効率化を図るために、加工機能と配送機能を一体化した配送加工センターを新設しました。

しかし、開設から40年以上経過し、施設の老朽化が著しく、機能的にも様々な課題が生じてきたことから、これらの解消を図るとともに、今後ますます激しさを増すと予想される市場間競争に対応できる基盤整備が必要なため、「効率的な物流の創出」と「食の安全・安心への対応」をコンセプトとして、市場機能の向上と競争力強化につながる整備をめざし、平成20年10月に再整備事業に着手し、平成24年4月に一層機能的で使いやすい市場として生まれ変わりました。今回の再整備事業では、青果卸売場棟の建替え、冷蔵庫棟及び関連棟の建替え再配置を行い、産地トラックの大型化に対応した荷受作業の円滑化、場内の車輛通行の改善策を講じるとともに、量販店等との取引にかかる荷さばき・出荷作業を円滑に行うための荷さばき出荷ゾーンも新たに設置しました。また、水産卸売場を全面低温化するなど、品質鮮度を保つための低温卸売場を拡大したほか、ごみドラムの新規導入により衛生面の強化を行いました。さらに、買出人駐車場には、雨や日差しを防ぐ大屋根を設置し、市場関係者への利便性の向上を図りました。



本場



東部市場

<市場の年表>

年	事項
大正 12 年	中央卸売市場法公布
大正 14 年	本場開設の認可
昭和 4 年	本場建設に着工
昭和 6 年	本場完成 11 月 11 日業務開始
昭和 16 年	物資統制令公布、仲買制度廃止
昭和 17 年	天満分場（北区）開場[同 20 年廃止] 木津分場（浪速区）開場[同 20 年廃止]
昭和 18 年	南部分場（住吉区）開場[昭和 46 年廃止] 北部分場（西淀川区）開場[同 19 年廃止] 東部分場（東住吉区）開場[同 21 年休止]
昭和 25 年	仲買制度及びせり取引開始
昭和 33 年	東部市場建設に着工
昭和 35 年	日曜週休制実施
昭和 39 年	東部市場開設の認可 東部市場完成 11 月 25 日業務開始
昭和 46 年	中央卸売市場法廃止、卸売市場法公布
昭和 47 年	祝祭日休市実施 本場拡張施設工事に着工
昭和 50 年	本場拡張施設業務開始
昭和 51 年	東部市場拡張施設工事に着工
昭和 52 年	東部市場拡張施設業務開始
昭和 53 年	東部市場施設改築工事に着工
昭和 56 年	東部市場施設改築工事完成
昭和 60 年	本場・東部市場の鉄道貨物引込線廃止
平成 2 年	本場整備事業に着工
平成 4 年	本場業務管理棟完成
平成 8 年	本場市場棟（第 1 期）完成
平成 11 年	本場市場棟（第 2 期）完成 卸売市場法改正（公布・施行）
平成 12 年	東部市場配送・加工センター完成
平成 14 年	本場市場棟（第 3 期）・関連棟完成
平成 16 年	卸売市場法改正（公布・施行） 本場配送加工棟完成
平成 20 年	東部市場再整備工事に着工
平成 22 年	東部市場青果卸売場棟（第 1 期）完成 東部市場冷蔵庫棟完成

年	事項
平成 23 年	東部市場関連棟（西棟・東棟）完成
	東部市場青果卸売場棟
平成 24 年	東部市場大屋根完成
	東部市場水産卸売場全面低温化完成
	東部市場荷さばき出荷ゾーン完成
平成 30 年	卸売市場法改正（公布）
令和 2 年	卸売市場法改正（施行）
令和 5 年	本場買荷積込所完成

2 市場の施設

(1) 本場

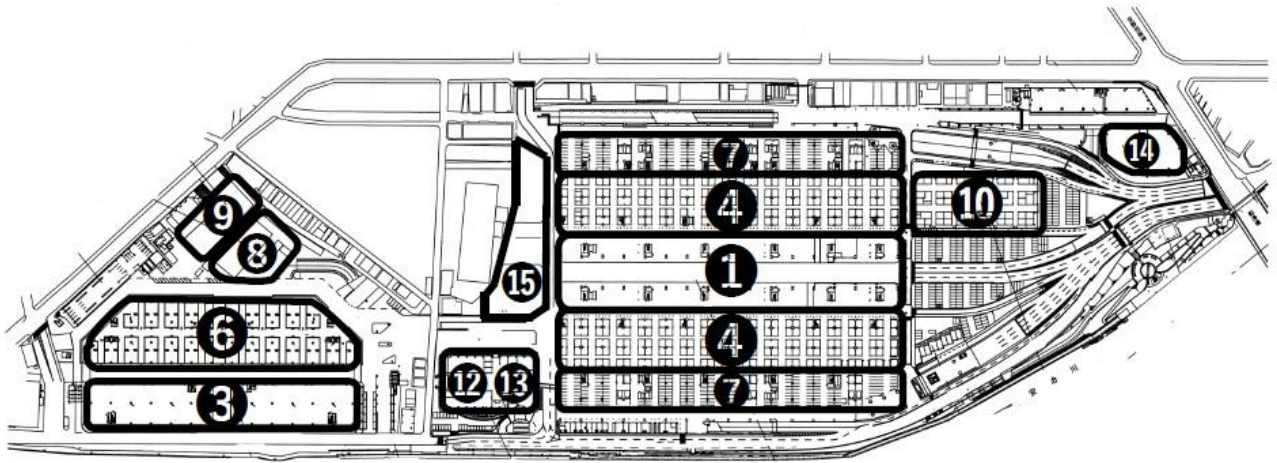
位 置 大阪市福島区野田 1 丁目 1 番 86 号

面 積 敷 地 175,188 m²

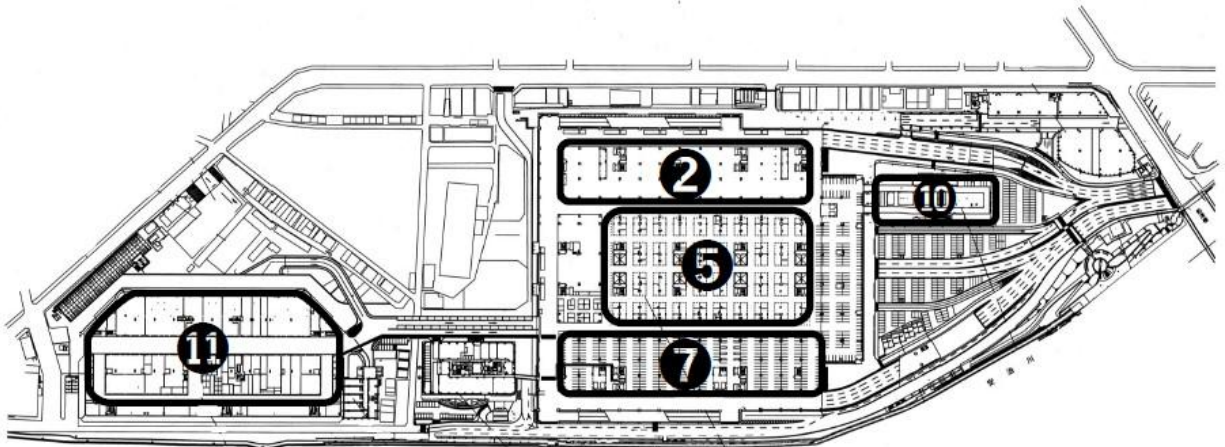
建面積 102,902 m² 延面積 314,221 m²

本場の主な施設

施設名称	所在	面積 (m ²)
卸売場	①市場東棟 1 階 (水産) ②市場東棟 3 階 (野菜) ③市場西棟 1 階 (果実)	53,586
仲卸売場	④市場東棟 1 階 (水産) ⑤市場東棟 3 階 (野菜) ⑥市場西棟 1 階 (果実)	49,885
駐車場	⑦市場東棟 1 階、3 階 ⑧市場西棟北側平面 ほか	128,742
買荷保管・積込所	⑨買荷保管・積込所	7,607
関連事業者営業所	⑩関連棟 1 階、3 階 ⑪市場西棟 3 階 ほか	9,385
開設者事務所	⑫業務管理棟	10,090
業者事務所	⑬業務管理棟 ほか	58,312
加工施設	⑭配送加工棟 2 階 ほか	6,718
買荷積込所	⑮買荷積込所	2,948
その他施設	倉庫・冷蔵庫	19,404



中央卸売市場本場 配置図兼1階平面図



中央卸売市場本場 配置図兼3階平面図

(2) 東部市場

位置 大阪市東住吉区今林 1 丁目 2 番 68 号

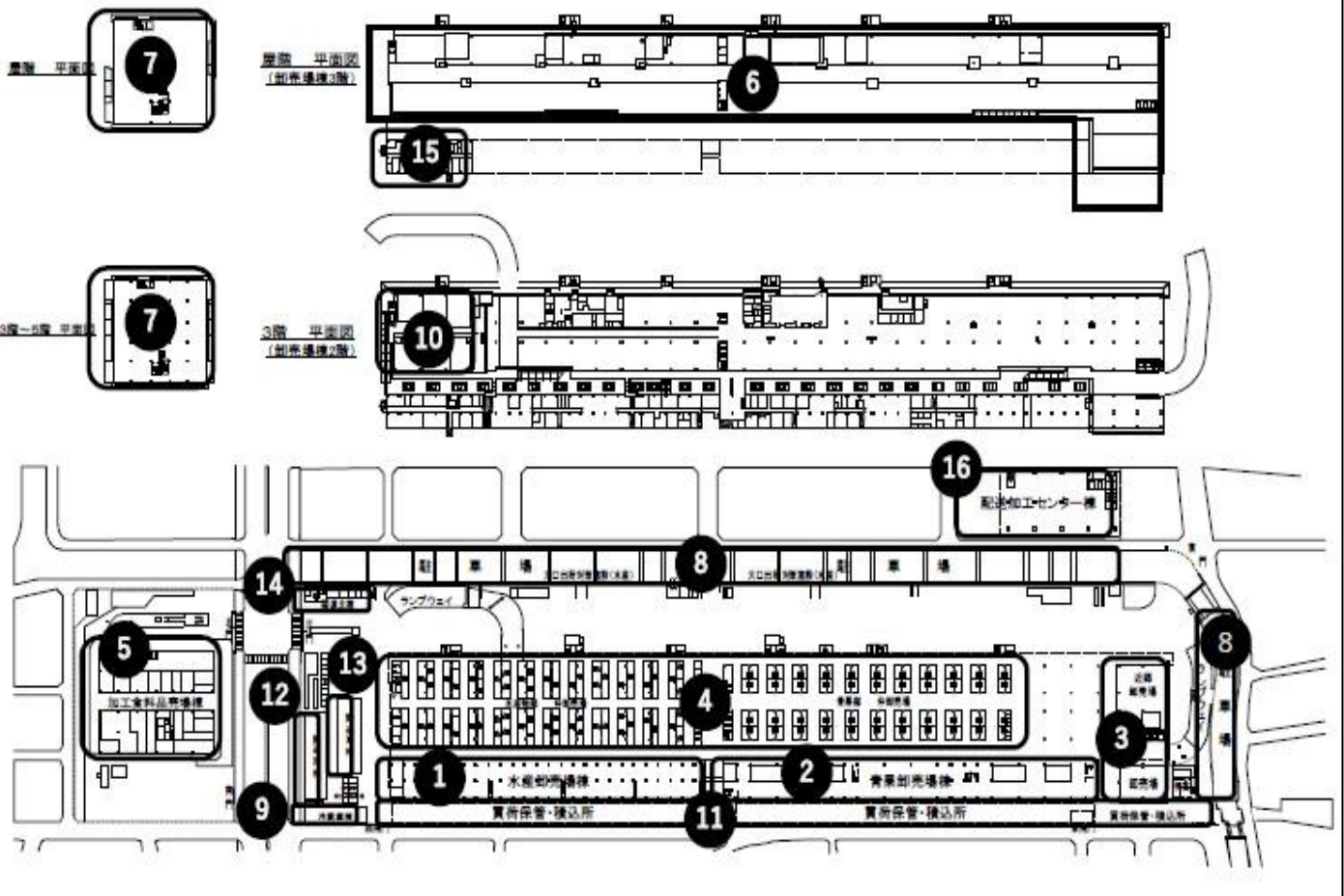
面積 敷地 105,615 m²

建面積 64,581 m² 延面積 167,800 m²

東部市場の主な施設

施設名称	所在	面積 (m ²)
卸売場	①水産卸売場棟 1 階 ②青果卸売場棟 1 階 ③卸売場棟 1 階 (近郷卸売場) ほか	17,739
仲卸売場	④仲卸売場棟 1 階 (水産・青果) ⑤加工食料品売場棟 1 階	33,406
駐車場	⑥仲卸売場棟屋階 ⑦加工食料品売場棟 3 ～屋階 ほか	46,315
	⑧平野川暗渠	5,516
冷蔵庫	⑨冷蔵庫棟	1,571
	⑩仲卸売場棟 3 階 (場内事業者所有)	2,357
買荷保管・積込所	⑪水産・青果卸売場棟南側 ほか	7,939
関連事業者営業所	⑫関連営業棟西 ⑬関連営業棟東 ⑭関連営業棟北 ほか	2,442
開設者事務所	⑮水産卸売場棟 3 階 ほか	1,409
加工施設	⑯配送加工センター棟 ほか	4,318
業者事務所	各施設	11,474
倉庫	各施設	20,750

大阪中央卸売市場東部市場 平面図



3 取扱品目

本場、東部市場は総合市場として次の生鮮食料品等を取り扱っています。

<本場>

- (1) 青 果 野菜、果実及びこれらの加工品、
冷凍食品（鳥肉以外の肉類に係るものを除く。）
- (2) 水 産 物 生鮮水産品及びその加工品、魚肉入加工品、
冷凍食品（鳥肉以外の肉類に係るものを除く。）
- (3) 加工食料品 漬物、みそ、乾物及びこれに準ずる加工品、魚肉入加工品、
冷凍食品（鳥肉以外の肉類に係るものを除く。）

<東部市場>

- (1) 青 果 野菜、果実及びこれらの加工品、
冷凍食品（鳥肉以外の肉類に係るものを除く。）
- (2) 水 産 物 生鮮水産品及びその加工品、魚肉入加工品、
冷凍食品（鳥肉以外の肉類に係るものを除く。）

4 市場の機構

市場の機構及び業務運営は、すべて卸売市場法、同法施行規則、大阪市中心卸売市場業務条例及び同条例施行規則に基づいています。

なお、開設者は大阪市内で、市場施設の維持管理と業務運営の指導監督にあたっています。

(1) 流通のしくみ

- ・卸売業者 市長の許可を受け、出荷者から生鮮食料品等の販売の委託を受け又は買い受けて、せり売、入札又は相対取引によって仲卸業者及び売買参加者等に販売する者。
- ・仲卸業者 市長の認定を受けて、市場内に設置する店舗において、卸売業者から卸売を受けた生鮮食料品等を仕分けし、または調製して小売業者、その他の買出人に販売する者。
- ・売買参加者 仲卸業者でない者で、市長の認定により、せり又は入札に参加して卸売業者から卸売を受けることができ、直接消費者に販売することを業務とする大口需要者等。
- ・関連事業者 市長の承認を受けて、市場において市場機能の充実に資する業務または市場の利用者に便益を提供する業務を市場内において行う者。

現在承認している者は本場で 100 業者、東部市場で 35 業者。



(2) 卸売業者数、仲卸業者数及び売買参加者数

【卸売業者】

(令和7年4月1日現在)

	青果	水産物	加工食料品
本場	2	2	1
東部市場	1	2	—
計	3	4	1

【仲卸業者】

(令和7年4月1日現在)

	青果		水産物		加工食料品	
	野菜	果実	生鮮	加工	漬物	乾物
本場	62	36	89	42	2	1
東部市場	16	4	36	21	—	—
計	78	40	125	63	2	1

【売買参加者】

(令和7年4月1日現在)

	青果	水産物	加工食料品
本場	2	4	0
東部市場	16	1	—
計	18	5	0

5 せりの開始時刻

(1) 本場

<青果部>

開始時刻	野菜	果実
午前4時40分	松茸	
午前4時50分	れんこん	
午前5時	だいこん、はくさい、キャベツ、かぶら	
午前5時10分	洋野菜、促成物、つま物	
午前5時20分	梅、かぼちゃ、菌茸類（椎茸、シメジ、エノキ等）	
午前5時30分	ほうれん草、青葱、白葱、分葱、ふき	
午前5時40分	一般物(胡瓜、トマト、なす、ピーマン、かぼちゃ)、豆類、洋人参	
午前5時50分		アムス・アンデス・他メロン、赤梨、柿、ハウスミカン、苺、ぶどう、桃、桜桃、栗+その他柑橘類（6月中旬から9月末、午前5時30分）
午前6時40分		アールスメロン
午前8時		りんご、みかん、なし、青梨、その他柑橘類
午前8時30分	ばれいしょ、たまねぎ	西瓜、小玉西瓜
午前9時	ごぼう	
午前9時20分	かんしょ、長芋、里芋、生姜、わさび、海老芋、にんにく、銀杏	

<水産物部>

開始時刻	品目
午前4時15分	太物（まぐろ等）
午前4時40分	生鮮
午前5時	煮干
午前5時10分	ちりめん

(2) 東部市場

<青果部>

開始時刻	野菜	果実
午前 6 時	近郷野菜	
午前 6 時 30 分	だいこん、はくさい、キャベツ、レタス、促成品、洋人参、れんこん、一般物（トマト、なす、胡瓜、ピーマン等）、豆類、葱類（青葱、白葱、分葱等）、菌茸類（椎茸、シメジ、エノキ等）	メロン、その他メロン、苺、西瓜、りんご、みかん、柿、干柿、栗、アレキ、伊予柑、その他柑橘類等果実全品目
午前 9 時	ごぼう、たまねぎ、ばれいしょ、長芋、セレベス、かぼちゃ、ゆり根、かんしょ、里芋、生姜、にんにく、山芋、海老芋	

<水産物部>

開始時刻	品目
午前 4 時 50 分	太物（まぐろ等）
午前 5 時 00 分	生鮮、加工水産物全般

※令和 7 年 4 月 1 日時点

※青果部については、季節により個々の品目の時間が変更されることがある。

本場における年末年始販売期間（限定）のれんこんについては午前 4 時 50 分開始、百合根については午前 10 時 00 分開始

※水産物部については、入荷の集中する時期には取引方法や時間が臨時に変更されることがある。

本場においては、松葉がに（ずわいがに）、棒だら、塩かずのこ（11 月）、太物等（12 月 28 日～30 日）

<南港市場>

1 市場の歴史

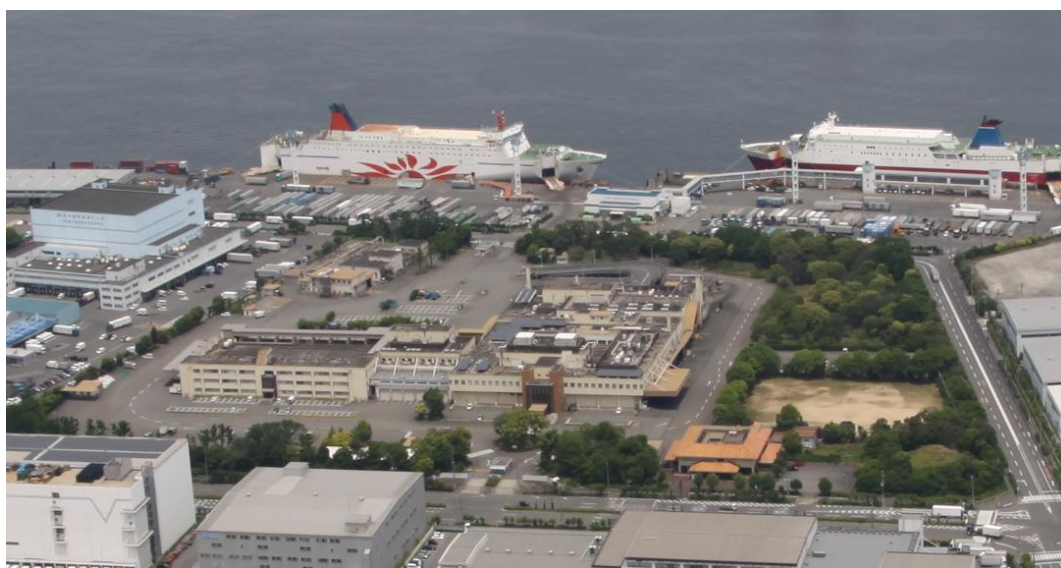
昭和 14 年 2 月に開設していた「大阪市立と畜場」に併設して、昭和 33 年 1 月 16 日、中央卸売市場法（現「卸売市場法」）に基づき、食肉を取り扱う「中央卸売市場食肉市場」を大阪市が全国に先がけて西成区に開設しました。

その後、施設の狭あい・老朽化とともに、食肉の流通形態の大きな変化に対応するため、南港南埠頭地区への移転を決定し（昭和 56 年 11 月に着工、昭和 59 年 3 月末に完成）、名称も「南港市場」と改め、近代的で衛生的な食肉処理場などの設備を備えた緑に囲まれた市場として、昭和 59 年 4 月 2 日から装いも新たに業務を開始しました。

また、平成 8 年に O157 による大規模食中毒が国内で発生したことを受け、同年 12 月にと畜場法施行規則の一部が改正されたことに伴い、解体ラインを改良するなどの衛生対策を講じました。加えて、平成 10 年度には、せり機械の更新及び情報化機能の強化を行い市場の I T 化に努めるなど、市場機能の向上を図ってきました。

その後、平成 12 年に口蹄疫、さらに平成 13 年には B S E（牛海綿状脳症）が相次いで国内で発生し、ハード・ソフト両面にわたって、さらに厳しく徹底した衛生対策を講じてきました。特に B S E 発生後は、関係業界と一体となって食肉の安全確保に取り組み、平成 22 年に再び口蹄疫が国内で発生した際にも、関係業界とともに徹底した防疫対策を講じるなど、消費者に対して常に安全かつ安心な食肉を提供できるよう、積極的な市場運営を進めています。

また、南港移転後の施設の狭あい・老朽化とともに、食肉流通にかかる H A C C P 等、衛生水準の向上に対応するため、平成 27 年 1 月に「南港市場将来戦略プラン」を策定し、令和 3 年 2 月に南港市場施設整備工事に着手し、令和 9 年度事業完了をめざして施設整備事業を進めています。



<市場の年表>

年	事項
明治 39 年	と場法公布
明治 42 年	村営と場開設（西成郡今宮村）
明治 43 年	家畜市場法公布 大阪市立と場開設（現大正区）
大正 12 年	中央卸売市場法公布
大正 14 年	今宮と場を本市が継承し大阪市立今宮と場と改称
昭和 11 年	大阪市立家畜市場開設（西成区松通） 大阪市立と場建設に着工
昭和 13 年	大阪市立家畜市場移転（西成区津守）
昭和 14 年	大阪市立と場開設（2 と場合併）
昭和 24 年	家畜市場法廃止
昭和 28 年	と場法廃止、と畜場法公布 大阪市立と畜場と改称
昭和 32 年	大阪市立家畜市場閉鎖
昭和 33 年	中央卸売市場食肉市場開設（全国で最初）
昭和 46 年	中央卸売市場法廃止、卸売市場法公布 豚肉、豚生体、牛生体の輸入自由化
昭和 56 年	南港市場建設に着工
昭和 59 年	大阪市立と畜場、大阪中央卸売市場食肉市場での業務を廃止（西成区津守） 南港市場完成 4 月 2 日業務開始
平成 3 年	牛肉の輸入自由化
平成 11 年	卸売市場法改正（公布・施行）
平成 16 年	卸売市場法改正（公布・施行）
平成 30 年	卸売市場法改正（公布）
令和 2 年	卸売市場法改正（施行）
令和 3 年	南港市場施設整備工事に着工

2 市場の施設

南港市場

位置 大阪市住之江区南港南5丁目2番48号

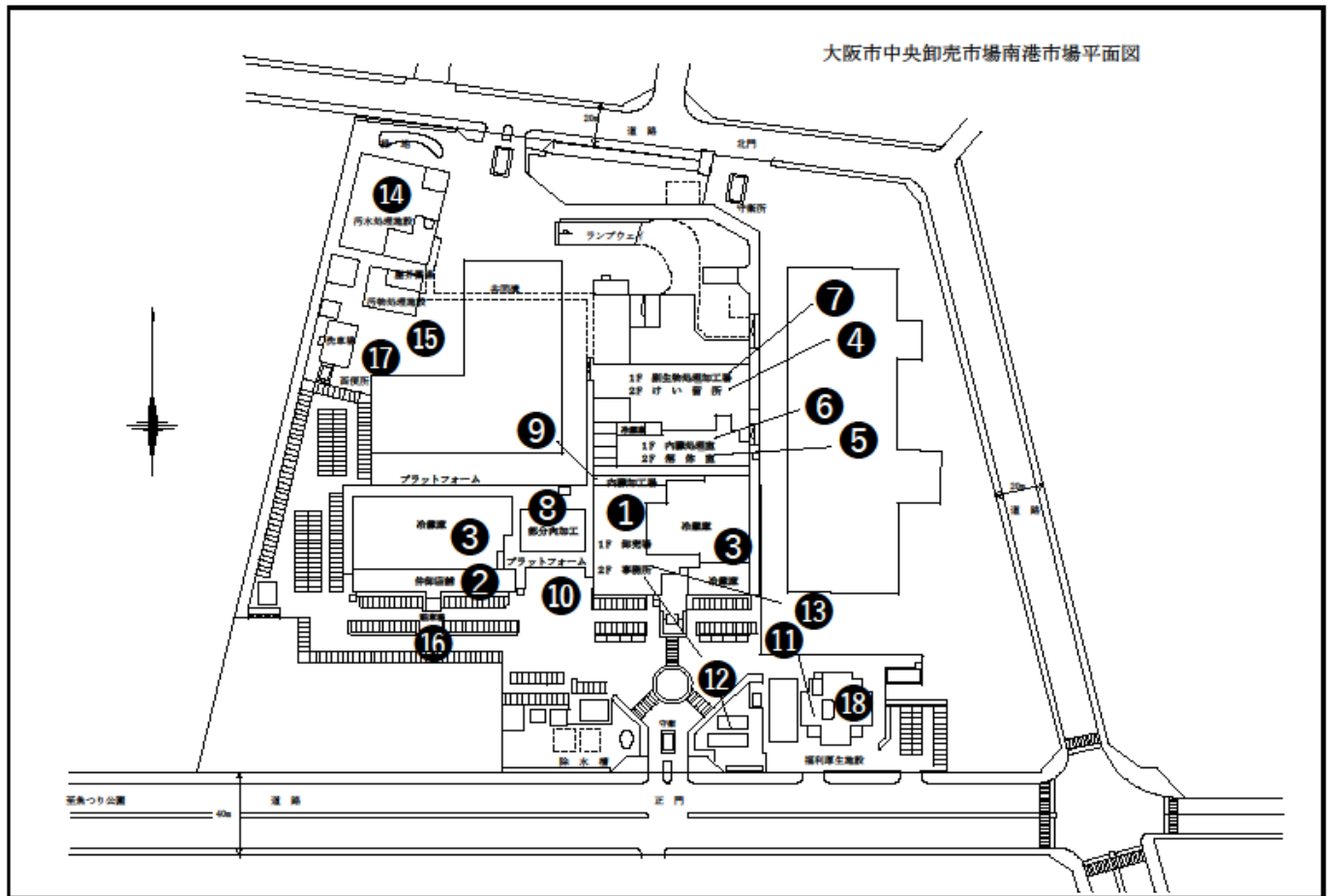
面積 敷地 100,079 m²

建面積 21,345 m² 延面積 31,140 m²

南港市場の主な施設

施設名称	面積 (m ²)
①卸売場	1,594
②仲卸売場	2,948
③冷蔵庫	5,623
④けい留所	1,991
⑤食肉処理場	1,259
⑥内臓処理場	1,434
⑦副産物処理場	1,870
⑧部分肉加工場	908
⑨内臓加工場	268
⑩買荷保管・積込所	475
⑪検査施設	616
⑫開設者事務所	1,564
⑬業者事務所	3,028
⑭汚水処理施設	695
⑮汚物処理施設	514
⑯駐車場	12,000
⑰洗車場	308
⑱福利厚生棟	1,487

大阪市中央卸売市場南港市場平面図



3 取扱品目

肉類（鳥肉を除く）及びその加工品

4 市場の機構

市場の機構及び業務運営は、すべて卸売市場法、同法施行規則、大阪市中心卸売市場業務条例、同条例南港市場施行規則及びと畜場法、大阪市食肉処理場条例、同条例施行規則に基づいています。

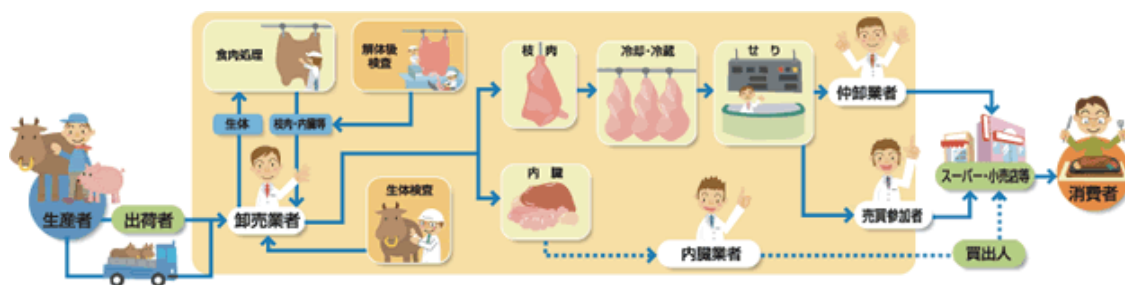
なお、開設者は大阪市中で、市場施設の維持管理と業務運営の指導監督にあっています。

(1) 流通のしくみ

- ・卸売業者 市長の許可を受け、出荷者から生鮮食料品等の販売の委託を受け又は買い受けて、せり売、入札又は相対取引によって仲卸業者及び売買参加者等に販売する者。
- ・仲卸業者 市長の認定を受けて、市場内に設置する店舗において、卸売業者から卸売を受けた生鮮食料品等を仕分けし、または調製して小売業者、その他の買出人に販売する者。
- ・売買参加者 仲卸業者でない者で、市長の認定により、せり又は入札に参加して卸売業者から卸売を受けることができ、直接消費者に販売することを業務とする大口需要者等。
- ・関連事業者 市長の承認を受けて、市場において市場機能の充実に資する業務または市場の利用者に便益を提供する業務を市場内において行う者。現在承認している者は、4業者。
- ・関係機関
 - ①格付機関

公益社団法人日本食肉格付協会が市長の指定を受けて市場で取引される枝肉の格付を行います。
 - ②検査機関

と畜場法に基づいて、大阪市（健康局）が食肉の衛生検査を行います。



(2) 卸売業者数、仲卸業者数及び売買参加者数

(令和7年4月1日現在)

業者	卸売業者	仲卸業者	売買参加者
食肉	1	17	106

5 せりの開始時刻

開始時刻	品目
午前 10 時 30 分	牛
午後 0 時 00 分	豚

牛せり場



豚せり場

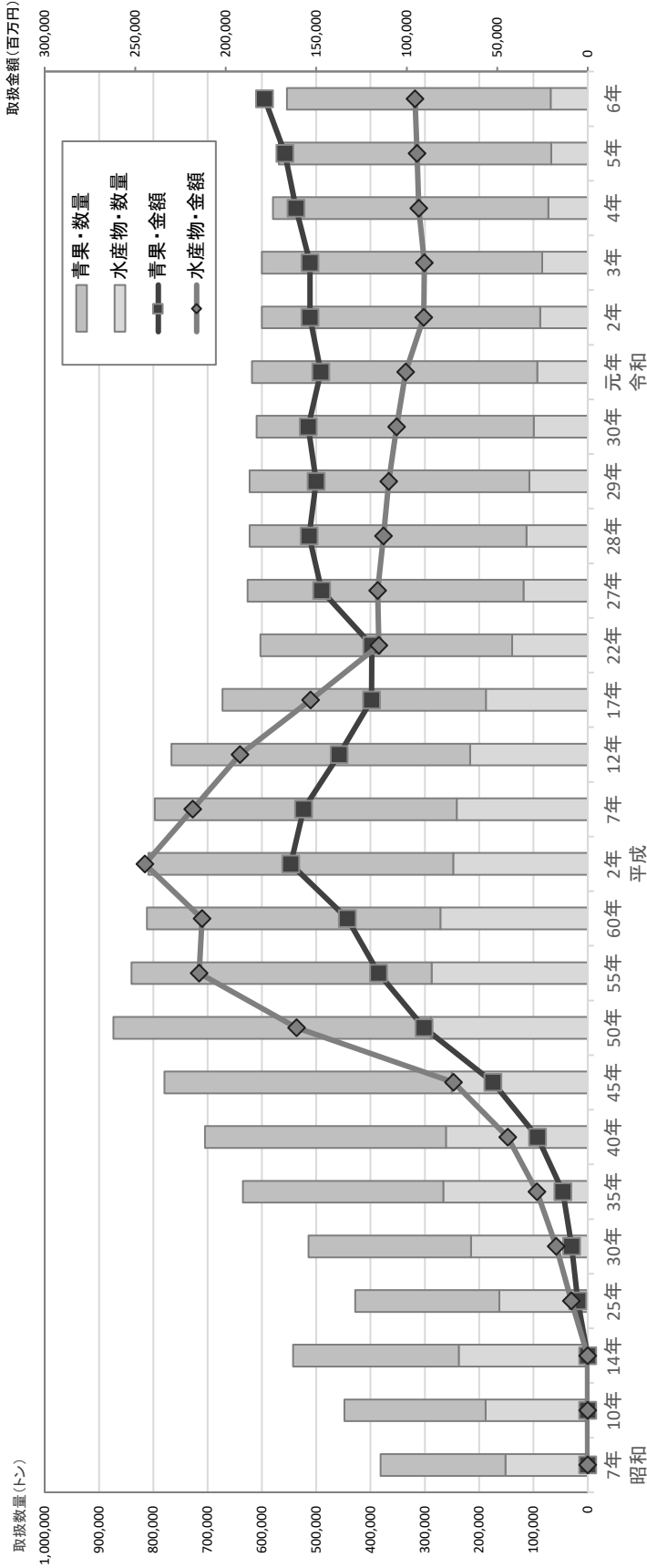


Ⅱ 統計資料

〈本場及び東部市場〉

1 経年グラフ

①本場



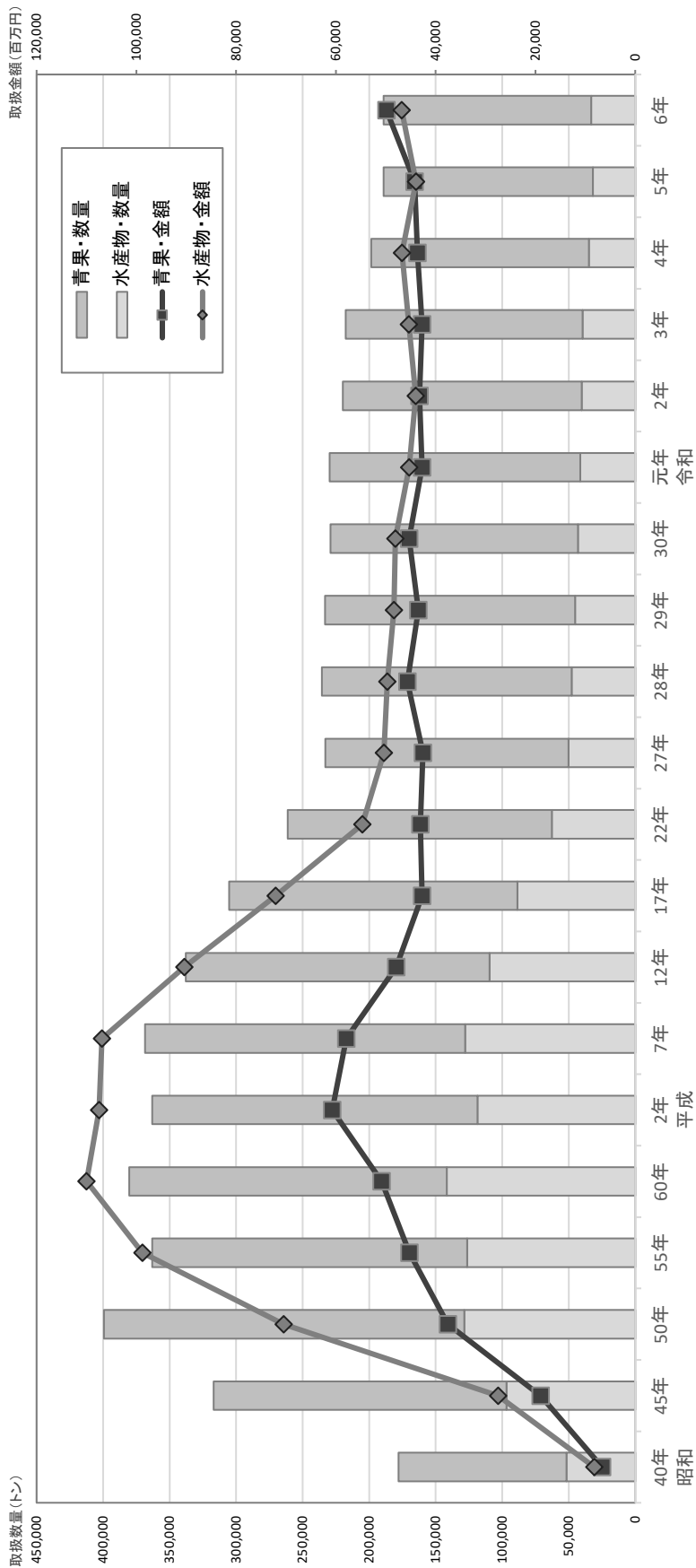
取扱数量 (トン)	昭和												平成												令和					
	7年	10年	14年	25年	30年	35年	40年	45年	50年	55年	60年	2年	7年	12年	17年	22年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年	6年				
青果	381,520	448,074	542,744	428,098	514,394	635,001	704,617	779,624	873,213	840,324	811,633	808,935	797,436	766,684	672,714	602,690	626,560	622,722	622,636	609,682	618,394	600,325	600,098	579,442	569,039	553,862				
水産物	229,790	260,145	305,283	265,276	299,513	368,945	443,490	529,460	583,950	552,619	540,344	561,419	556,258	550,166	484,916	463,644	508,267	509,912	515,148	510,269	525,544	512,795	515,992	506,717	501,628	485,498				
取扱金額 (百万円)	48	63	113	14,662	26,288	41,694	71,865	126,618	251,249	330,229	345,847	408,775	375,121	329,481	272,443	234,757	262,989	266,740	260,092	259,960	248,016	244,016	243,775	254,471	261,538	273,916				
内訳	14	19	34	5,591	8,850	13,669	27,733	52,401	90,416	115,508	132,846	164,123	156,978	137,338	119,411	119,332	147,000	153,902	150,130	154,339	147,467	153,405	161,166	167,310	178,495					
内訳	34	44	79	9,071	17,438	28,026	44,132	74,217	160,833	214,721	213,001	244,651	218,143	192,143	153,032	115,425	115,989	112,837	109,961	105,621	100,549	90,611	90,322	93,305	94,228	95,421				

※ 昭和6年11月11日業務開始

※ 大阪中央卸売市場年報より抜粋(ただし、昭和15～22年年報は未発行)

※ 内訳は、現在の取扱部類・取扱区分に合わせて集計

② 東部市場



	昭和												平成						令和		
	40年	45年	50年	55年	60年	2年	7年	12年	17年	22年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年	6年	
取扱数量 (トン)	177,982	316,910	399,300	363,186	380,442	363,040	368,421	337,919	305,247	261,221	233,046	235,557	233,272	228,962	229,756	219,758	217,685	198,448	189,186	189,194	
内 青果	126,413	220,044	270,895	236,923	238,730	244,449	240,642	228,348	216,709	198,451	182,927	187,700	188,087	186,038	188,413	179,481	178,023	163,523	157,369	156,045	
内 水産物	51,569	96,866	128,405	126,263	141,712	118,591	127,779	109,571	88,538	62,770	50,119	47,857	45,185	42,924	41,343	40,277	39,662	34,925	31,817	33,149	
取扱金額 (百万円)	14,835	46,414	108,026	144,047	160,824	168,178	164,841	138,268	114,814	97,755	92,908	95,353	91,859	93,368	88,063	87,254	88,089	90,399	88,163	96,662	
内 青果	6,622	18,928	37,568	45,239	50,844	60,731	57,924	47,901	42,711	43,058	42,553	45,688	43,496	45,309	42,731	43,253	42,732	43,662	44,215	49,867	
内 水産物	8,213	27,486	70,458	98,808	109,980	107,448	106,917	90,367	72,103	54,697	50,355	49,664	48,363	48,059	45,332	44,000	45,357	46,738	43,948	46,796	

※昭和39年11月25日業務開始

※大阪府中央卸売市場年報より抜粋

※内訳は、現在の取扱部類・取扱区分に合わせて集計

2 取扱数量及び金額 (開場日数251日)

(1) 令和6年中取扱高

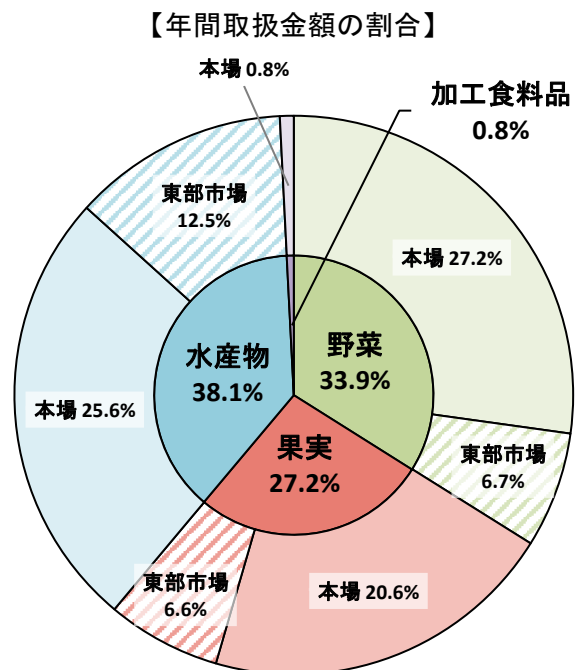
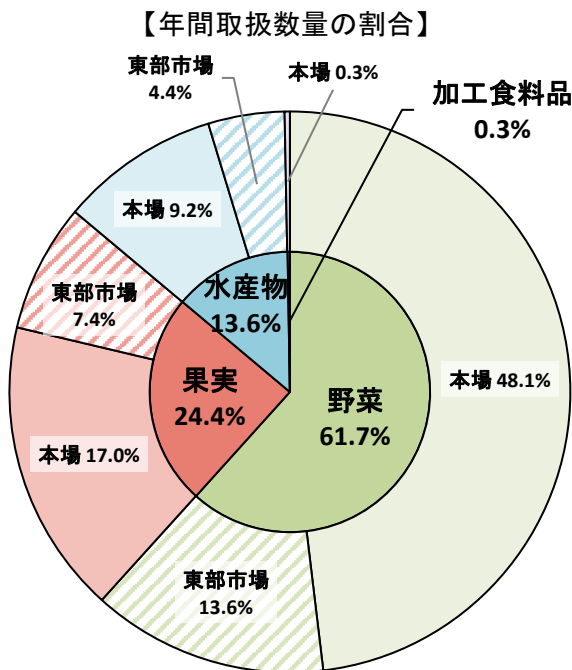
① 本場・東部市場合計

種 類 別		1 日 平 均		1 年 間	
		数 量	金 額	数 量	金 額
青 果	野 菜	1,831	505,221	459,496	126,810,483
	果 実	725	404,585	182,046	101,550,789
	計	2,556	909,806	641,543	228,361,272
水 産 物	生 鮮 水 産 物	200	257,764	50,275	64,698,696
	冷 凍 水 産 物	66	116,125	16,616	29,147,379
	加 工 水 産 物	121	177,533	30,437	44,560,732
	そ の 他	17	15,180	4,184	3,810,273
	計	404	566,602	101,512	142,217,080
加 食 料 工 品	つ け 物	1	625	272	156,937
	乾 物	7	11,484	1,685	2,882,376
	計	8	12,109	1,957	3,039,313
合 計		2,968	1,488,517	745,012	373,617,666

※項目別四捨五入のため合計と一致しないことがある。

※その他には魚肉入加工品と冷凍食品が含まれる。

② 本場・東部市場の比率



③ 本場

種 類 別		1 日 平 均		1 年 間	
		数 量	金 額	数 量	金 額
青 果	野 菜	1,428	405,033	358,350	101,663,337
	果 実	507	306,101	127,148	76,831,370
	計	1,934	711,134	485,498	178,494,707
水 産 物	生 鮮 水 産 物	154	191,620	38,653	48,096,698
	冷 凍 水 産 物	41	71,576	10,286	17,965,617
	加 工 水 産 物	69	110,171	17,325	27,653,016
	そ の 他	8	6,797	2,099	1,706,100
	計	272	380,165	68,364	95,421,431
加 食 料 工 品	つ け 物	1	625	272	156,937
	乾 物	7	11,484	1,685	2,882,376
	計	8	12,109	1,957	3,039,313
合 計		2,214	1,103,408	555,819	276,955,451

※項目別四捨五入のため合計と一致しないことがある。

※その他には魚肉入加工品と冷凍食品が含まれる。

④ 東部市場

種 類 別		1 日 平 均		1 年 間	
		数 量	金 額	数 量	金 額
青 果	野 菜	403	100,188	101,147	25,147,147
	果 実	219	98,484	54,898	24,719,418
	計	622	198,672	156,045	49,866,565
水 産 物	生 鮮 水 産 物	46	66,143	11,622	16,601,998
	冷 凍 水 産 物	25	44,549	6,330	11,181,762
	加 工 水 産 物	52	67,361	13,112	16,907,716
	そ の 他	8	8,383	2,085	2,104,173
	計	132	186,437	33,149	46,795,649
合 計		754	385,108	189,193	96,662,214

※項目別四捨五入のため合計と一致しないことがある。

※その他には魚肉入加工品と冷凍食品が含まれる。

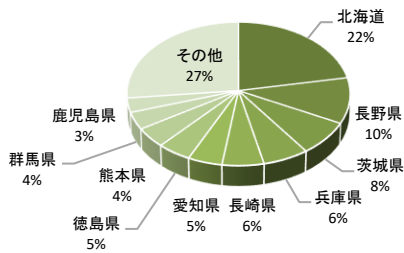
(2) 主要産地別取扱量

(青果)

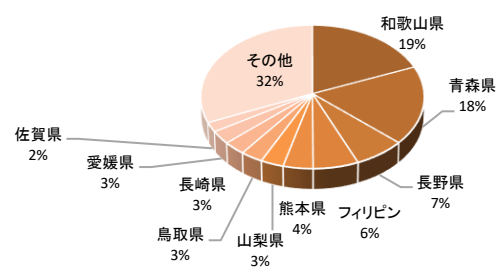
① 本場

種類別 順位	野菜			果実		
	産地	取扱数量	前年比	産地	取扱数量	前年比
1	北海道	79,115 ^{トン}	107 [%]	和歌山県	23,928 ^{トン}	90 [%]
2	長野県	36,964	98	青森県	22,548	95
3	茨城県	27,612	110	長野県	8,961	112
4	兵庫県	22,860	92	フィリピン	8,028	98
5	長崎県	20,769	84	熊本県	5,268	92
6	愛知県	17,128	84	山梨県	4,040	103
7	徳島県	16,816	97	鳥取県	3,919	92
8	熊本県	16,069	85	長崎県	3,849	94
9	群馬県	13,947	93	愛媛県	3,774	92
10	鹿児島県	11,598	110	佐賀県	2,768	95

【野菜・構成比】



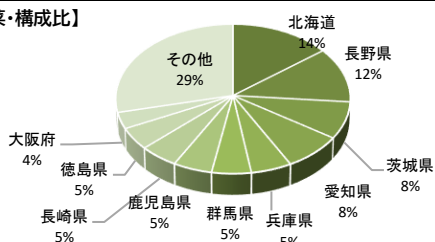
【果実・構成比】



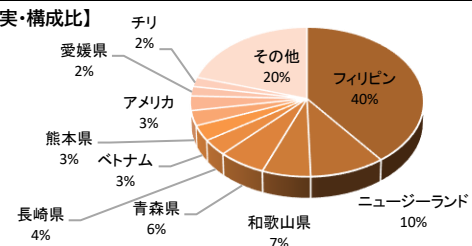
② 東部市場

種類別 順位	野菜			果実		
	産地	取扱数量	前年比	産地	取扱数量	前年比
1	北海道	14,567 ^{トン}	102 [%]	フィリピン	21,696 ^{トン}	90 [%]
2	長野県	12,083	100	ニュージーランド	5,485	124
3	茨城県	8,099	121	和歌山県	3,546	93
4	愛知県	7,926	84	青森県	3,456	84
5	兵庫県	5,459	93	長崎県	1,925	104
6	群馬県	5,286	119	ベトナム	1,858	220
7	鹿児島県	5,215	108	熊本県	1,784	78
8	長崎県	5,157	78	アメリカ	1,726	81
9	徳島県	4,821	91	愛媛県	1,133	83
10	大阪府	3,584	108	チリ	1,126	82

【野菜・構成比】



【果実・構成比】

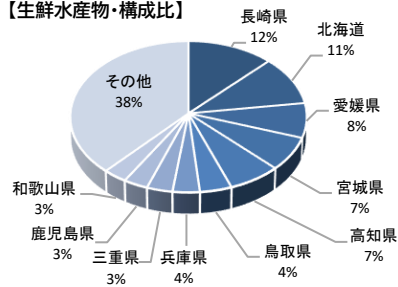


(水産物)

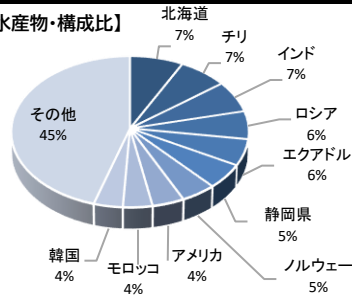
① 本場

種類別 順位	生鮮水産物			冷凍水産物			加工水産物		
	産地	取扱数量	前年比	産地	取扱数量	前年比	産地	取扱数量	前年比
1	長崎県	4,766	117%	北海道	778	107%	兵庫県	1,487	104%
2	北海道	4,047	114%	チリ	720	111%	中国	1,344	108%
3	愛媛県	2,865	94%	インド	692	89%	大阪府	1,151	106%
4	宮城県	2,790	117%	ロシア	618	77%	北海道	998	103%
5	高知県	2,664	120%	エクアドル	582	133%	チリ	837	99%
6	鳥取県	1,621	75%	静岡県	550	101%	アメリカ	836	109%
7	兵庫県	1,376	99%	ノルウェー	471	94%	千葉県	617	101%
8	三重県	1,310	95%	アメリカ	431	94%	ロシア	588	98%
9	鹿児島県	1,241	100%	モロッコ	396	156%	愛知県	449	108%
10	和歌山県	1,209	101%	韓国	391	105%	インド	407	76%

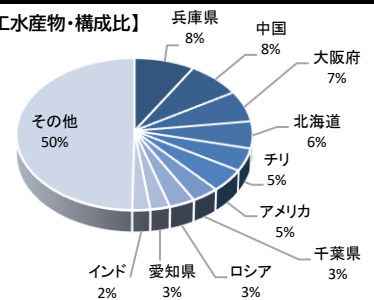
【生鮮水産物・構成比】



【冷凍水産物・構成比】



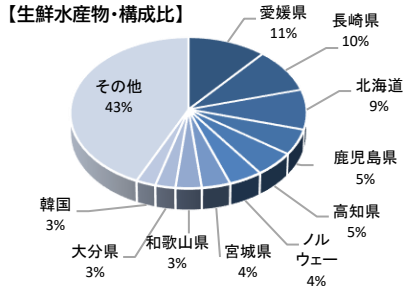
【加工水産物・構成比】



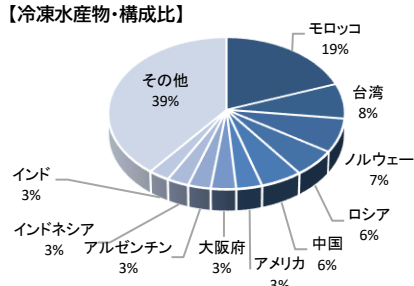
② 東部市場

種類別 順位	生鮮水産物			冷凍水産物			加工水産物		
	産地	取扱数量	前年比	産地	取扱数量	前年比	産地	取扱数量	前年比
1	愛媛県	1,304	105%	モロッコ	1,227	99%	大阪府	3,512	112%
2	長崎県	1,106	97%	台湾	473	119%	兵庫県	1,659	99%
3	北海道	997	120%	ノルウェー	458	114%	チリ	678	85%
4	鹿児島県	636	98%	ロシア	365	117%	ロシア	565	94%
5	高知県	616	120%	中国	345	109%	沖縄県	546	101%
6	ノルウェー	513	107%	アメリカ	215	86%	千葉県	466	104%
7	宮城県	439	93%	大阪府	209	180%	宮城県	338	66%
8	和歌山県	397	108%	アルゼンチン	189	91%	京都府	328	105%
9	大分県	308	161%	インドネシア	182	87%	北海道	312	100%
10	韓国	302	96%	インド	174	65%	中国	311	82%

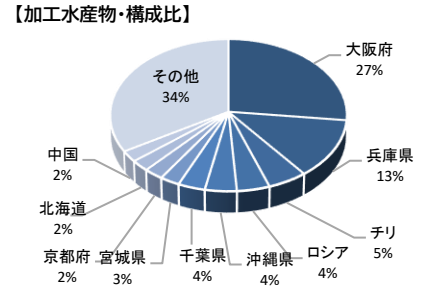
【生鮮水産物・構成比】



【冷凍水産物・構成比】



【加工水産物・構成比】



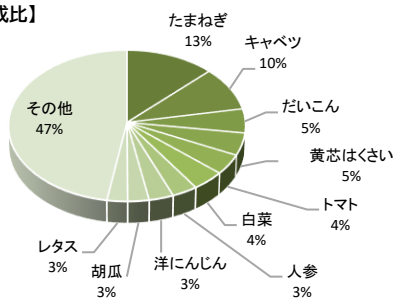
(3) 主要品目別取扱量

(青果)

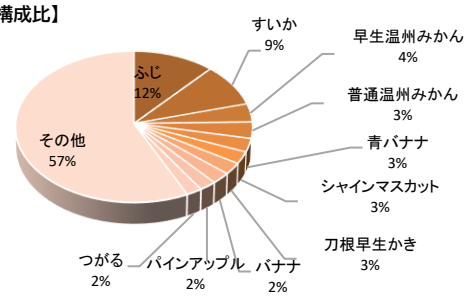
① 本場

種類別 順位	野 菜			果 実		
	品 目	取扱数量	前年比	品 目	取扱数量	前年比
1	たまねぎ	45,370 ^{トン}	102%	ふ じ	14,718 ^{トン}	91%
2	キャベツ	33,773	93	す い か	11,651	100
3	だいこん	18,519	100	早生温州みかん	5,021	86
4	黄芯はくさい	17,095	93	普通温州みかん	4,460	88
5	ト マ ト	15,372	96	青 バ ナ ナ	3,671	105
6	白 菜	15,178	106	シャインマスカット	3,302	126
7	人 参	12,005	100	刀根早生かき	3,206	87
8	洋 に ん じ ん	11,554	101	バ ナ ナ	3,105	91
9	胡 瓜	10,011	84	パイナップル	2,800	99
10	レ タ ス	9,653	89	つ が る	2,626	128

【野菜・構成比】



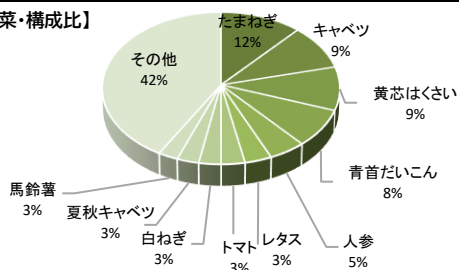
【果実・構成比】



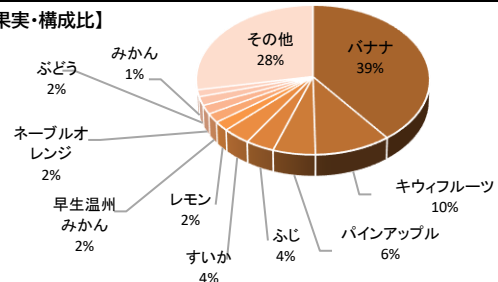
② 東部市場

種類別 順位	野 菜			果 実		
	品 目	取扱数量	前年比	品 目	取扱数量	前年比
1	たまねぎ	11,721 ^{トン}	102%	バ ナ ナ	21,688 ^{トン}	96%
2	キャベツ	9,671	96	キウイフルーツ	5,582	123
3	黄芯はくさい	9,379	96	パイナップル	3,100	104
4	青首だいこん	8,223	81	ふ じ	2,088	85
5	人 参	4,855	87	す い か	2,020	107
6	レ タ ス	3,568	101	レ モ ン	1,119	71
7	ト マ ト	3,139	103	早生温州みかん	1,090	80
8	白 ね ぎ	2,932	108	ネーブルオレンジ	1,065	86
9	夏秋キャベツ	2,903	104	ぶ ど う	1,049	119
10	馬 鈴 薯	2,617	125	み か ん	814	119

【野菜・構成比】



【果実・構成比】

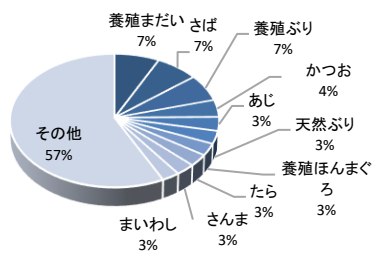


(水産物)

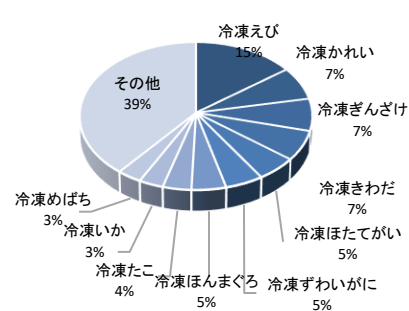
① 本場

種類別 順位	生鮮水産物			冷凍水産物			加工水産物		
	品目	取扱数量 トン	前年比 %	品目	取扱数量 トン	前年比 %	品目	取扱数量 トン	前年比 %
1	養殖まだい	2,796	111	冷凍えび	1,514	90	塩ぎんさけ	1,300	100
2	さば	2,686	99	冷凍かれい	740	62	蒲焼うなぎ	907	96
3	養殖ぶり	2,503	126	冷凍ぎんざけ	726	120	塩さば	788	95
4	かつお	1,614	113	冷凍きわだ	677	104	ちりめん	600	93
5	あじ	1,306	130	冷凍ほたてがい	550	115	ちりめん釜あげ	525	113
6	天然ぶり	1,209	99	冷凍ずわいがに	524	91	明太子	485	110
7	養殖ほんまぐろ	1,137	103	冷凍ほんまぐろ	475	124	すけそうたら	469	92
8	たら	1,123	96	冷凍たこ	393	178	茹たこ	429	97
9	さんま	1,094	259	冷凍いか	336	149	塩かずのこ	211	110
10	まいわし	1,013	110	冷凍めばち	335	90	塩べにさけ	203	91

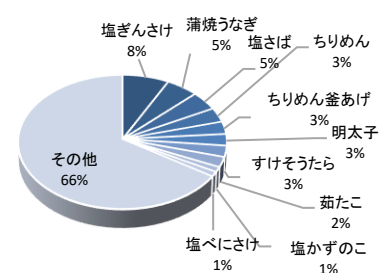
【生鮮水産物・構成比】



【冷凍水産物・構成比】



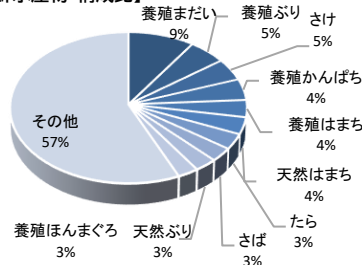
【加工水産物・構成比】



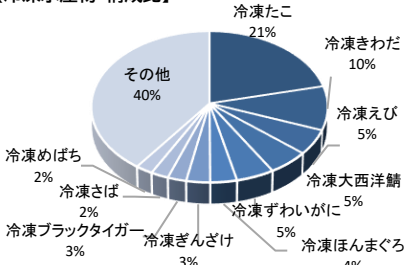
② 東部市場

種類別 順位	生鮮水産物			冷凍水産物			加工水産物		
	品目	取扱数量 トン	前年比 %	品目	取扱数量 トン	前年比 %	品目	取扱数量 トン	前年比 %
1	養殖まだい	1,096	104	冷凍たこ	1,348	94	塩ぎんさけ	1,349	86
2	養殖ぶり	629	121	冷凍きわだ	596	115	塩さば	420	87
3	さけ	542	104	冷凍えび	340	80	かまぼこ	415	106
4	養殖かんばち	529	103	冷凍大西洋鯖	336	113	明太子	244	89
5	養殖はまち	428	136	冷凍ずわいがに	316	101	塩べにさけ	231	112
6	天然はまち	423	70	冷凍ほんまぐろ	221	188	ちりめん	207	94
7	たら	389	102	冷凍ぎんざけ	198	123	蒲焼うなぎ	198	93
8	さば	346	77	冷凍ブラックタイガー	155	110	しんこ釜あげ	160	260
9	天然ぶり	336	86	冷凍さば	147	165	丸干いわし	153	90
10	養殖ほんまぐろ	316	108	冷凍めばち	143	84	佃煮	127	98

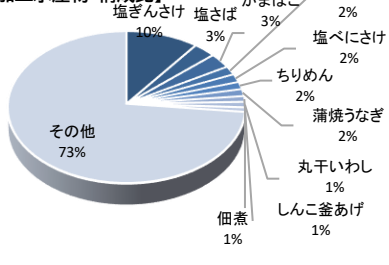
【生鮮水産物・構成比】



【冷凍水産物・構成比】



【加工水産物・構成比】



3 年次別取扱高

〔 単位 数量：トン
金額：千円 〕

① 本場・東部市場合計

種類別		年別	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
		区分					
青	野菜	数量	500,015	493,049	475,107	469,068	459,496
		金額	111,591,611	108,007,045	112,938,589	115,669,851	126,810,483
	果実	数量	192,260	200,966	195,133	189,929	182,046
		金額	85,066,569	88,177,583	91,889,269	95,855,462	101,550,789
果	計	数量	692,276	694,016	670,240	658,997	641,543
		金額	196,658,180	196,184,627	204,827,858	211,525,312	228,361,272
水産物	生鮮水産物	数量	58,895	58,733	52,222	48,342	50,275
		金額	57,009,332	58,954,009	63,296,695	62,297,684	64,698,696
	冷凍水産物	数量	21,893	20,037	17,198	16,672	16,616
		金額	27,439,802	27,121,761	27,350,055	27,851,037	29,147,379
	加工水産物	数量	40,150	39,480	34,029	30,492	30,437
		金額	46,656,195	46,476,545	46,299,729	44,927,484	44,560,732
	その他	数量	6,869	5,518	4,202	3,721	4,184
		金額	3,506,607	3,126,943	3,095,732	3,099,278	3,810,273
計	数量	127,806	123,768	107,651	99,227	101,512	
	金額	134,611,937	135,679,258	140,042,210	138,175,482	142,217,080	
加工食品	つけ物	数量	805	238	253	273	272
		金額	387,245	134,952	144,436	157,387	156,937
	乾物	数量	1,598	1,582	1,660	1,754	1,685
		金額	2,505,274	2,542,850	2,695,573	2,936,450	2,882,376
	計	数量	2,404	1,820	1,913	2,027	1,957
		金額	2,892,519	2,677,802	2,840,009	3,093,836	3,039,313
合計	数量	822,486	819,603	779,804	760,251	745,012	
	金額	334,162,635	334,541,687	347,710,077	352,794,631	373,617,666	

※項目別四捨五入のため合計と合致しないことがある。

※その他には魚肉入加工品と冷凍食品が含まれる。

② 本場

〔 単位 数量：トン
金額：千円 〕

種類別		年別 区分	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
青	野菜	数量	379,809	378,406	370,892	368,742	358,350
		金額	88,318,307	86,291,088	91,199,965	94,412,390	101,663,337
	果実	数量	132,986	137,586	135,825	132,886	127,148
		金額	65,086,683	67,161,075	69,966,278	72,897,906	76,831,370
果	計	数量	512,795	515,993	506,718	501,628	485,498
		金額	153,404,990	153,452,163	161,166,244	167,310,297	178,494,707
水	生 鮮 水産物	数量	45,021	44,441	40,094	37,622	38,653
		金額	42,877,731	43,361,029	46,981,324	47,369,703	48,096,698
	冷 凍 水産物	数量	13,081	12,243	10,879	10,627	10,286
		金額	15,693,265	15,907,796	16,889,142	17,597,247	17,965,617
産	加 工 水産物	数量	24,120	23,398	19,345	17,099	17,325
		金額	29,770,862	29,137,838	27,853,919	27,630,657	27,653,016
物	その他	数量	5,308	4,024	2,407	2,063	2,099
		金額	2,269,579	1,915,820	1,580,142	1,629,975	1,706,100
	計	数量	87,530	84,106	72,725	67,410	68,364
		金額	90,611,437	90,322,484	93,304,528	94,227,583	95,421,431
加 工 食 料 品	つけ物	数量	273	238	253	273	272
		金額	154,407	134,952	144,436	157,387	156,937
	乾 物	数量	1,598	1,582	1,660	1,754	1,685
		金額	2,505,274	2,542,850	2,695,573	2,936,450	2,882,376
計	数量	1,871	1,820	1,913	2,027	1,957	
	金額	2,659,682	2,677,802	2,840,009	3,093,836	3,039,313	
合 計	数量	602,196	601,919	581,356	571,065	555,819	
	金額	246,676,108	246,452,449	257,310,780	264,631,716	276,955,451	

※項目別四捨五入のため合計と合致しないことがある。

※その他には魚肉入加工品と冷凍食品が含まれる。

③ 東部市場

〔 単位 数量：トン
金額：千円 〕

種類別		年別	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	
		区分						
青	野菜	数量	120,207	114,643	104,215	100,326	101,147	
		金額	23,273,304	21,715,956	21,738,623	21,257,460	25,147,147	
	果実	数量	59,274	63,380	59,308	57,043	54,898	
		金額	19,979,886	21,016,508	21,922,991	22,957,556	24,719,418	
果	計	数量	179,481	178,023	163,523	157,369	156,045	
		金額	43,253,190	42,732,464	43,661,614	44,215,016	49,866,565	
水産物	生鮮水産物	数量	13,874	14,292	12,128	10,720	11,622	
		金額	14,131,601	15,592,980	16,315,371	14,927,981	16,601,998	
	冷凍水産物	数量	8,811	7,794	6,319	6,045	6,330	
		金額	11,746,537	11,213,965	10,460,912	10,253,790	11,181,762	
	加工水産物	数量	16,030	16,082	14,683	13,394	13,112	
		金額	16,885,333	17,338,707	18,445,810	17,296,826	16,907,716	
	その他	数量	1,562	1,494	1,795	1,658	2,085	
		金額	1,237,028	1,211,123	1,515,590	1,469,303	2,104,173	
	計	数量	40,276	39,662	34,925	31,817	33,149	
		金額	44,000,500	45,356,774	46,737,683	43,947,899	46,795,649	
	加工食品	つけ物	数量	532	—	—	—	—
			金額	232,837	—	—	—	—
乾物	数量	—	—	—	—	—		
	金額	—	—	—	—	—		
計	数量	532	—	—	—	—		
	金額	232,837	—	—	—	—		
合計	数量	220,290	217,684	198,448	189,186	189,193		
	金額	87,486,527	88,089,239	90,399,297	88,162,915	96,662,214		

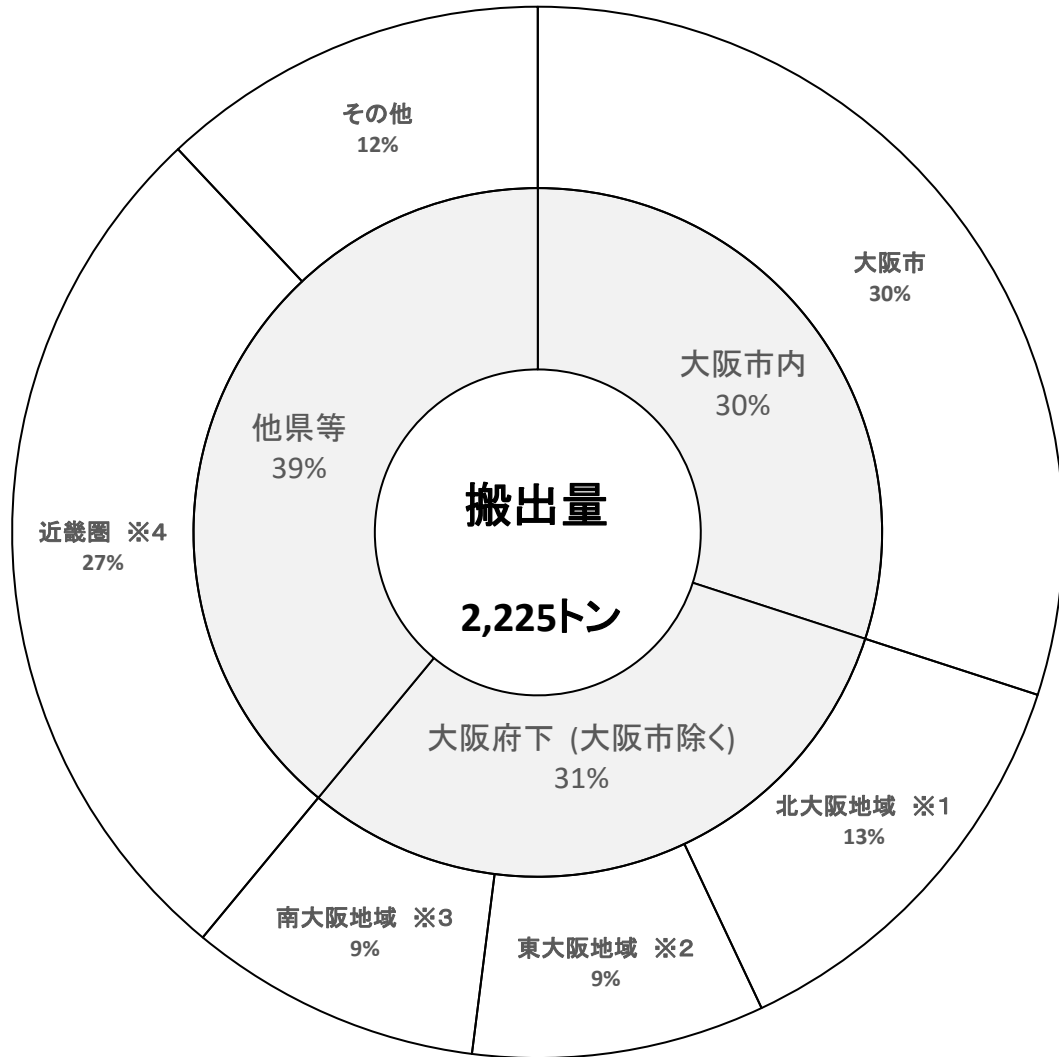
※項目別四捨五入のため合計と合致しないことがある。

※その他には魚肉入加工品と冷凍食品が含まれる。

※東部市場は令和2年6月21日付けで加工食料品部を廃止。

4 地域別搬出量グラフ

〔本場・東部市場の青果物・水産物 合計〕



○ 市場取扱品流通状況調査結果より推計（令和6年10月11日調査）

※1 豊中市、吹田市、摂津市、池田市、箕面市、能勢町、豊能町、茨木市、高槻市、島本町

※2 守口市、門真市、大東市、東大阪市、八尾市、柏原市、枚方市、交野市、寝屋川市、四条畷市

※3 堺市、松原市、羽曳野市、藤井寺市、富田林市、大阪狭山市、河内長野市、太子町、河南町、千早赤阪村、和泉市、高石市、泉大津市、忠岡町、岸和田市、貝塚市、熊取町、泉佐野市、田尻町、泉南市、阪南市、岬町

※4 京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、滋賀県、三重県

○ 地域別搬出割合の推移〔本場・東部市場の青果物・水産物 合計〕

(単位:%)

区分 年次	合計			市場別内訳					
				本場			東部市場		
	大阪市内	大阪府下	他県等	大阪市内	大阪府下	他県等	大阪市内	大阪府下	他県等
昭和55 (1980) 年	39	38	23	39	34	27	41	45	14
平成 2 (1990) 年	39	36	25	37	34	29	44	41	15
平成12 (2000) 年	35	32	33	33	29	38	41	39	20
平成22 (2010) 年	27	32	41	26	30	44	29	39	32
令和 2 (2020) 年	31	28	41	25	28	47	46	30	24
令和 4 (2022) 年	29	23	48	27	20	53	34	38	28
令和 5 (2023) 年	35	32	33	32	33	35	46	27	27
令和 6 (2024) 年	30	31	39	26	29	45	41	36	23

※各年1回、特定日(10月)に調査を実施。昭和55年以降、10年毎及び直近3年の調査結果(令和5年以前は漬物を含む。)

※大阪府下は大阪市を除く府内の市町村。他県等には海外輸出を含む。

5 入出場調査(24時間)

調査日：令和6年10月10日正午～10月11日正午

市場 種別	本 場			東 部 市 場		
	入場	出場	滞留 (ピーク時)	入場	出場	滞留 (ピーク時)
歩 行 者	2,090	2,023		1,096	1,058	
二 輪 車	2,969	2,846	1,593	1,127	1,179	464
軽 貨 物 車	1,987	2,343	447	1,084	1,072	199
普 通 貨 物 車	3,011	3,106	543	1,390	1,409	170
大 型 貨 物 車	804	683	108	223	227	21
乗 用 車	2,839	3,207	1,458	1,265	1,267	424
タクシー、バス、その他	45	40	7	6	7	1
自 動 車 合 計	8,686	9,379	2,507	3,968	3,982	738

過去入場者数(10年前・5年前・前年)

(本 場)

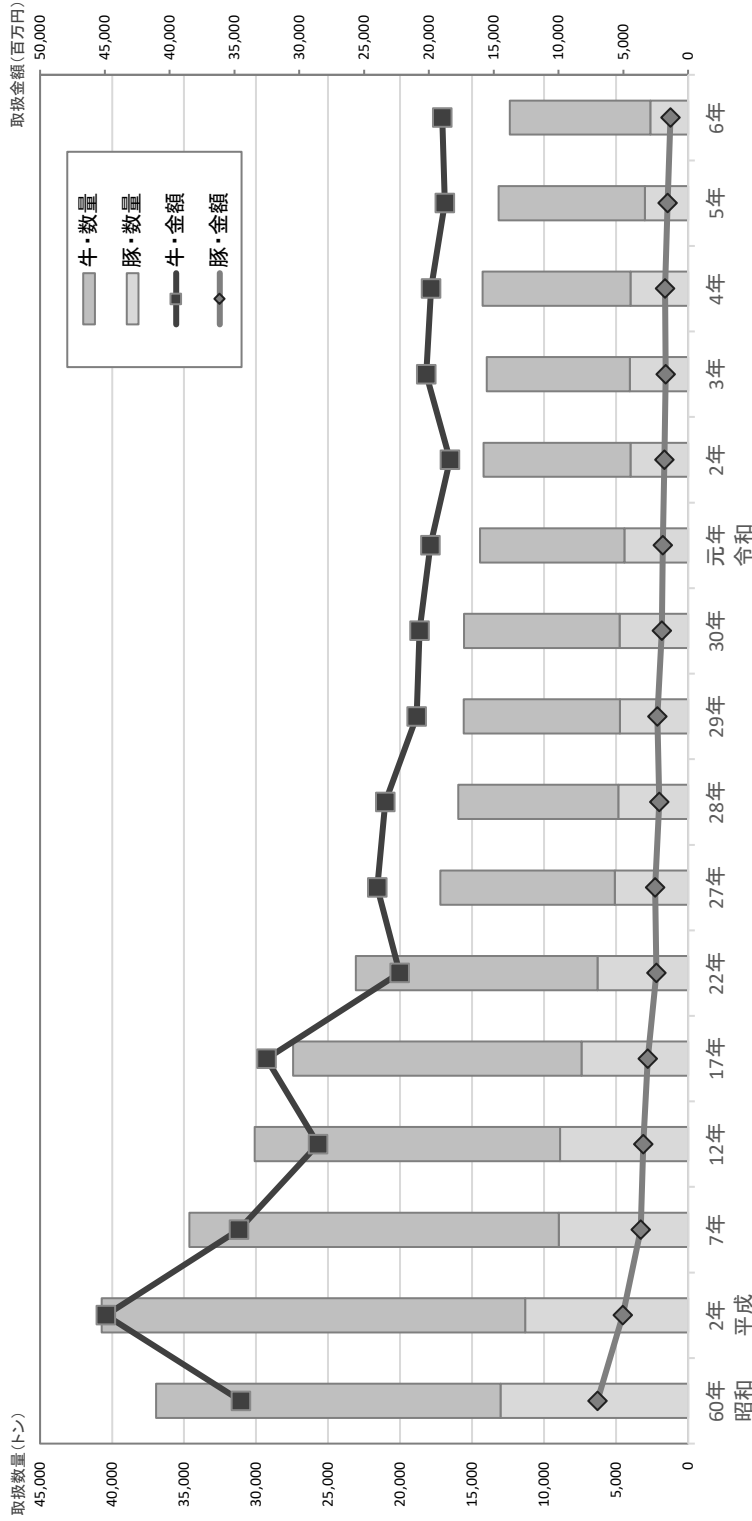
種 別	歩行者	二輪車	軽 貨物車	普 通 貨物車	大 型 貨物車	乗用車	タクシー バス その他	自動車 合 計
調査日	人	台	台	台	台	台	台	台
平成26. 10. 3正午～ 4正午	4,039	4,437	2,095	3,593	1,082	5,259	218	12,247
令和元. 10. 18正午～19正午	2,924	2,996	2,071	3,641	872	3,758	203	10,545
令和5. 10. 12正午～13正午	3,761	4,063	1,964	3,262	921	3,177	68	9,392

(東部市場)

種 別	歩行者	二輪車	軽 貨物車	普 通 貨物車	大 型 貨物車	乗用車	タクシー バス その他	自動車 合 計
調査日	人	台	台	台	台	台	台	台
平成26. 10. 3正午～ 4正午	1,909	1,600	1,752	1,374	652	2,535	50	6,363
令和元. 10. 18正午～19正午	1,581	959	1,277	1,633	413	1,691	162	5,176
令和5. 10. 12正午～13正午	1,221	1,247	904	1,627	228	1,201	9	3,969

〈南港市場〉

1 経年グラフ



	昭和60年	平成2年	7年	12年	17年	22年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年	6年
取扱数量 (トン)	36,941	40,713	34,636	30,088	27,431	23,080	17,193	15,953	15,588	15,556	14,439	14,203	13,984	14,262	13,150	12,387
内 牛	23,908	29,402	25,663	21,189	20,036	16,794	12,094	11,106	10,858	10,793	10,023	10,199	9,942	10,255	10,154	9,758
内 豚	13,033	11,311	8,973	8,899	7,395	6,286	5,099	4,847	4,730	4,763	4,416	4,004	4,042	4,007	2,996	2,629
取扱金額 (百万円)	41,492	49,960	38,319	31,987	35,631	24,689	26,543	25,589	23,307	22,753	21,823	20,207	21,931	21,610	20,351	20,322
内 牛	34,494	44,922	34,654	28,539	32,526	22,254	23,993	23,366	20,949	20,718	19,885	18,372	20,205	19,837	18,779	18,963
内 豚	6,998	5,038	3,665	3,448	3,105	2,435	2,550	2,223	2,358	2,035	1,988	1,835	1,726	1,773	1,572	1,359

※ 昭和59年4月2日業務開始

※ 大阪市中央卸売市場年報より抜粋

※ 内訳は、現在の取扱部類・取扱区分に合わせて集計

2 取扱数量及び金額

(1) 令和6年中と畜頭数(作業日数238日)

種 類 別	1 日 平 均	1 年 間
牛	83	19,680
馬	-	-
豚	131	31,086
子 牛	0	(3)
子 馬	-	-
羊	-	-
合 計	213	50,766

※子牛は牛の内数

(2) 令和6年中取扱高(開場日数241日)

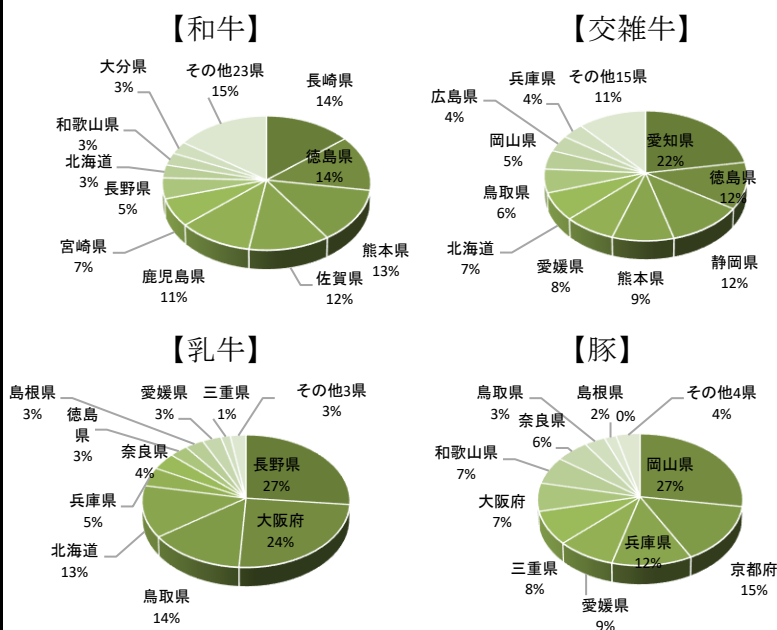
種 類 別		1 日 平 均		1 年 間	
		数 量	金 額	数 量	金 額
成 牛	枝 肉	40 ^{トン}	78,683 ^{千円}	9,758 ^{トン}	18,962,546 ^{千円}
	国内産部分肉	-	-	-	-
	輸入部分肉	-	-	-	-
豚	枝 肉	11	5,639	2,629	1,359,019
	国内産部分肉	-	-	-	-
	輸入部分肉	-	-	-	-
子 牛		0	1	0	174
馬 その他		-	-	-	-
合 計		51	84,323	12,387	20,321,739

※項目別四捨五入のため合計と合致しないことがある。

(3) 令和6年中産地別取扱頭数(枝肉)

種類 別 順位	成 牛								
	和 牛			交 雑 牛			乳 牛		
	産 地	頭 数	前年比	産 地	頭 数	前年比	産 地	頭 数	前年比
1	長崎県	1,419	227%	愛知県	2,091	104%	長野県	52	200%
2	徳島県	1,349	143%	徳島県	1,099	81%	大阪府	48	66%
3	熊本県	1,314	120%	静岡県	1,087	96%	鳥取県	28	72%
4	佐賀県	1,219	92%	熊本県	883	69%	北海道	25	61%
5	鹿児島県	1,119	96%	愛媛県	732	90%	兵庫県	9	53%
6	宮崎県	686	104%	北海道	665	66%	奈良県	8	62%
7	長野県	505	112%	鳥取県	553	93%	徳島県	6	12%
8	北海道	318	99%	岡山県	443	139%	島根県	6	—
9	和歌山県	306	94%	広島県	379	79%	愛媛県	6	600%
10	大分県	307	105%	兵庫県	354	126%	三重県	3	—
	その他23県	1,538	92%	その他15県	1,075	78%	その他3県	5	167%
	合 計	10,080	112%	合 計	9,361	86%	合 計	196	71%
							成牛合計	19,637	97%

種類 別 順位	豚		
	産 地	頭 数	前年比
1	岡山県	8,487	82%
2	京都府	4,562	105%
3	兵庫県	3,765	69%
4	愛媛県	2,708	118%
5	三重県	2,619	118%
6	大阪府	2,155	102%
7	和歌山県	2,076	107%
8	奈良県	1,720	79%
9	鳥取県	1,067	97%
10	島根県	608	110%
	その他4県	1,225	117%
	豚合計	30,992	88%



3 年次別取扱高

頭数：頭
 単位 重量：トン
 金額：千円

畜種	年別		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	
	区分							
成牛	枝	和牛	頭数	10,591	9,925	9,439	9,023	10,080
			重量	5,214	4,859	4,644	4,386	4,866
			金額	11,362,843	12,303,714	11,361,993	10,228,633	11,095,798
	枝	交雑牛	頭数	9,447	9,604	10,701	10,900	9,361
			重量	4,809	4,903	5,502	5,671	4,818
			金額	6,881,813	7,757,328	8,394,014	8,483,840	7,802,488
	肉	乳牛	頭数	473	490	305	277	196
			重量	176	181	108	97	75
			金額	127,785	144,332	80,666	66,327	64,260
	肉	外国牛	頭数	-	-	-	-	-
			重量	-	-	-	-	-
			金額	-	-	-	-	-
	肉	計	頭数	20,511	20,019	20,445	20,200	19,637
			重量	10,199	9,942	10,255	10,154	9,759
			金額	18,372,441	20,205,374	19,836,674	18,778,800	18,962,546
	部分肉	国産	頭数	-	-	-	-	-
			重量	-	-	-	-	-
			金額	-	-	-	-	-
		輸入	頭数	-	-	-	-	-
			重量	-	-	-	-	-
			金額	-	-	-	-	-
計		頭数	-	-	-	-	-	
		重量	-	-	-	-	-	
		金額	-	-	-	-	-	
合計	頭数	20,511	20,019	20,445	20,200	19,637		
	重量	10,199	9,942	10,255	10,154	9,759		
	金額	18,372,441	20,205,374	19,836,674	18,778,800	18,962,546		
豚	枝肉	頭数	45,343	45,733	46,438	35,115	30,992	
		重量	4,004	4,042	4,007	2,996	2,629	
		金額	1,835,044	1,725,792	1,773,211	1,572,464	1,359,019	
	部分肉	国産	頭数	-	-	-	-	-
			重量	-	-	-	-	-
			金額	-	-	-	-	-
		輸入	頭数	-	-	-	-	-
			重量	-	-	-	-	-
			金額	-	-	-	-	-
	計	頭数	-	-	-	-	-	
		重量	-	-	-	-	-	
		金額	-	-	-	-	-	
	合計	頭数	45,343	45,733	46,438	35,115	30,992	
		重量	4,004	4,042	4,007	2,996	2,629	
		金額	1,835,044	1,725,792	1,773,211	1,572,464	1,359,019	
その他	頭数	3	3	7	2	3		
	重量	0	0	1	0	0		
	金額	113	184	247	81	174		
総計	頭数	65,857	65,755	66,890	55,317	50,632		
	重量	14,203	13,984	14,262	13,150	12,388		
	金額	20,207,598	21,931,350	21,610,131	20,351,345	20,321,739		

※項目別四捨五入のため合計と合致しないことがある。

4 入出場調査

(令和6年11月21日正午～11月22日正午調)

種別		区分	入 出 場	
			入 場	出 場
自動車			入 場	出 場
	乗用車		225 (19)	214 (8)
	二輪車		36 (0)	33 (0)
貨物車	大 型	9 (0)	8 (0)	
	中 型	29 (1)	25 (1)	
	小 型	28 (1)	15 (1)	
保冷車	大 型	4 (0)	5 (0)	
	中 型	21 (0)	30 (0)	
	小 型	22 (0)	40 (1)	
自動車合計			374 (21)	370 (11)
入出場者			入 場	出 場
	自動車		395	381
	歩行者(送迎バス含む)		210	221
入出場者合計			605	602

()は同乗者数

美味しいもの
美味しい時に

中央卸
大阪
市場
市

この書は、大阪市中央卸売市場の歴史、現況及び施設の概要についてまとめたものです。

市場概要

令和7年度版

令和7年（2025年）5月発行

編集 大阪市中央卸売市場総務課

（〒553-0005）大阪市福島区野田1-1-86 業務管理棟15階

（HP）



電話 06 (6469) 7910

FAX 06 (6469) 7979

HP <https://www.city.osaka.lg.jp/shijo/>

X <https://x.com/shijyoosaka?mx=2>

（X）

